

人口減少時代における秦野市への提言

将棋×はだのっ子

～社会で活躍するための一手～

令和5年度次世代育成アカデミー3班

高齢介護課 松本絵理佳

保育こども園課 高橋 秀和

建設管理課 安間 光利

経営総務課 岩崎 惇



課題

- **変化が激しい社会で生きる子どもたち**

現状

- **非認知能力の向上を目指した取組**

提案

- **社会で活躍するための一手**

課題

- 変化が激しい社会で生きる子どもたち

現状

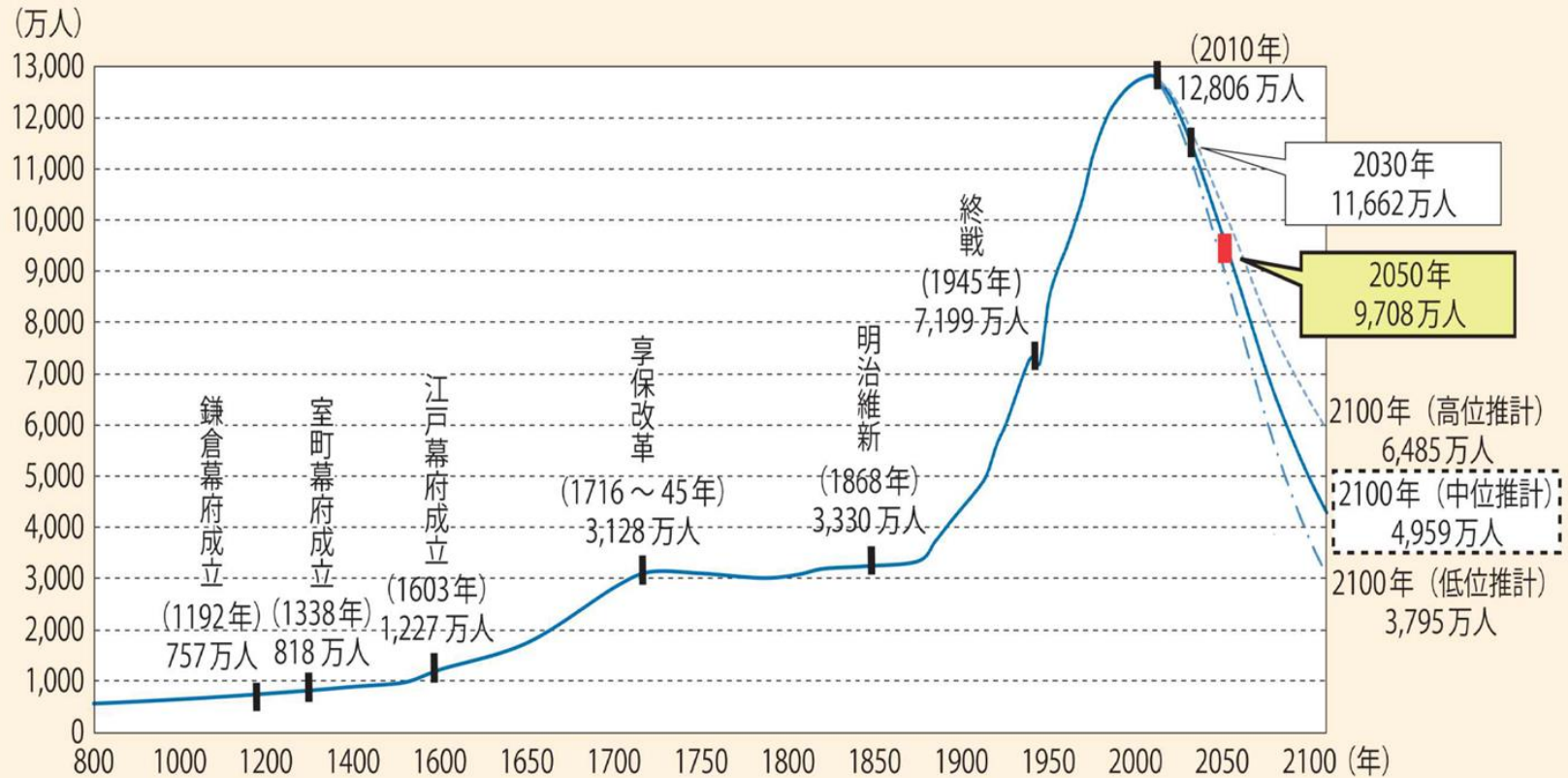
- 非認知能力の向上を目指した取組

提案

- 社会で活躍するための一手

人口の推移

課題



資料) 2010年以前は総務省「国勢調査」、同「平成22年国勢調査人口等基本集計」、国土庁「日本列島における人口分布の長期時系列分析」(1974年)、2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(2012年1月推計)」より国土交通省作成

新しい発見や技術の進歩で
常識や慣習がどんどん変わる時代

**秦野市の子どもたちには、
今後の社会の変化に負けず、
「生きる力」を身につけて
活躍してほしい！**



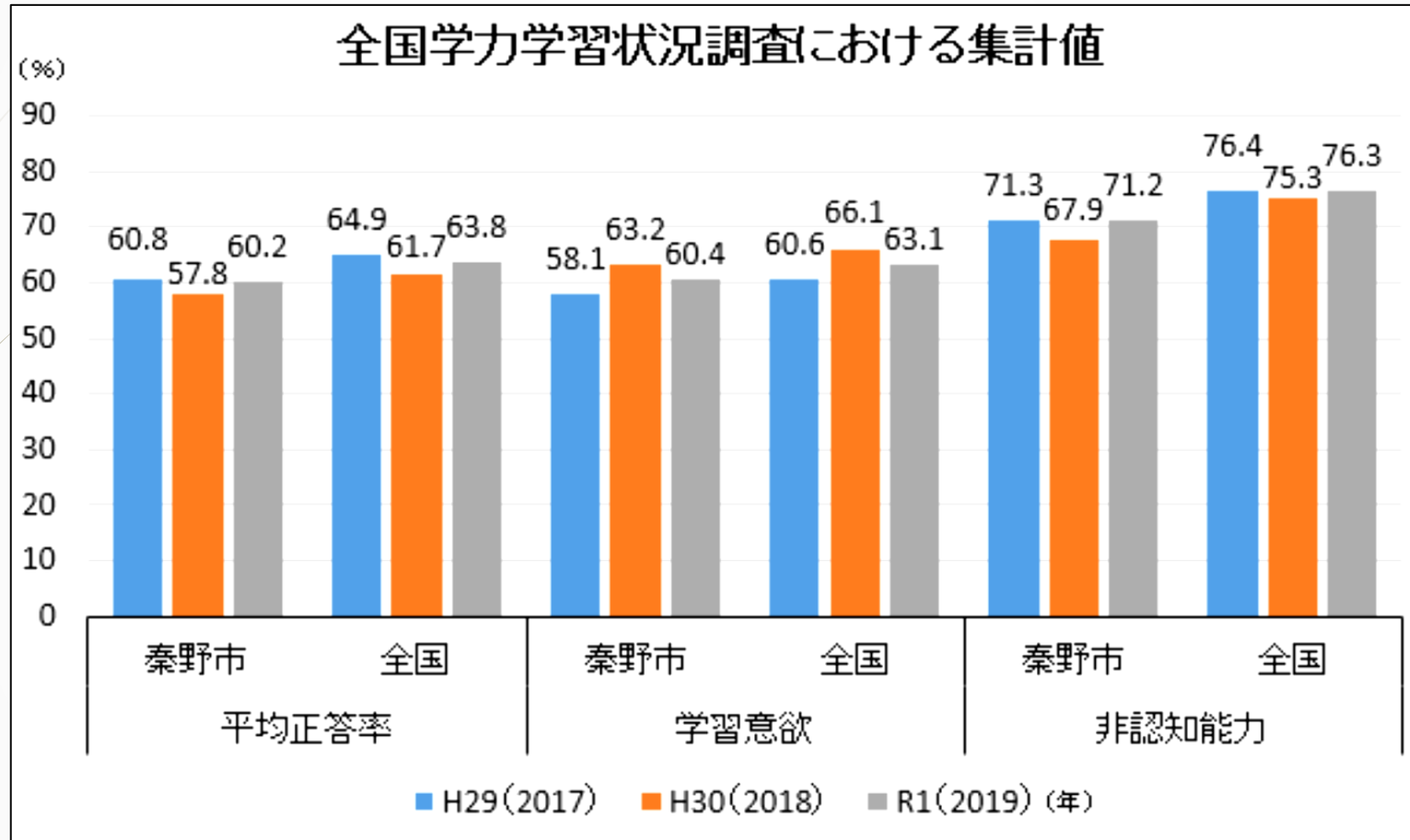
「論理的思考」の全国的な傾向

課題

- ▶ 「P I S A（学習到達度調査）や全国学力・学習状況調査などから、我が国の生徒は、論理的な思考に課題があると思われる」

（引用：国立教育政策研究所「特定の課題に関する調査（論理的な思考）調査結果」より）

全国と秦野市との比較



(引用：「秦野市教育振興基本計画（R3～7）」秦野市・秦野市教育委員会)

課題

- 変化が激しい社会で生きる子どもたち

現状

- **非認知能力の向上を目指した取組**

提案

- 社会で活躍するための一手

「非認知能力」とは

現状

- ➡ 意欲・協調性・粘り強さ・忍耐力・計画性・
自制心・創造性・コミュニケーション能力など、
数値で測ることが難しい能力
- ➡ 学習指導要領
 - ・「知識及び技能」
 - ・「思考力・判断力・表現力など」
 - ・「学びに向かう力、人間性など」
- ➡ 「育成すべき資質・能力の三つの柱」

秦野市の取組

現状

- ▶ 教育振興基本計画 教育水準の改善・向上を図るため、**学習意欲**や**非認知能力**を重視

■ 目標設定

成果・活動 指標	現状値 (元年度)	中間値 (5年度)	目標値 (7年度)
全国学力・学習状況調査における集計値			
平均正答率※1	本市平均/全国平均 60.2%/63.8%	全国平均	全国平均以上
学習意欲※2	60.4%	64%	68%
非認知能力※3	71.2%	77%	81%
I C T の活用※4	—	80%	90%

(資料：「秦野市教育振興基本計画 (R3~7)」 秦野市・秦野市教育委員会)

「学びの基盤プロジェクト」

現
状

小学校において、非認知能力の指標ともなる
2項目の数値が向上

	自分には、よいところがあると思いますか	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか
R 4	75.3%	74.1%
R 5	80.1%	74.9%
(差)	+4.8%	+0.8%

(資料：「令和5年度全国学力・学習状況調査結果の分析」秦野市教育委員会)

「学びの基盤プロジェクト」

現状

- ➡ 「教える」から
「学ぶ」へ
- ➡ 「非認知能力」
向上

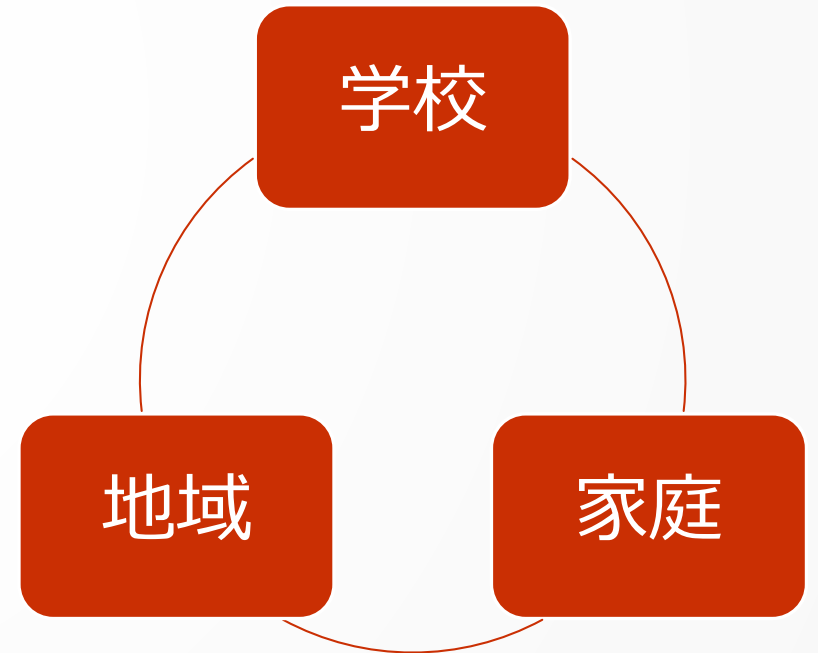


(引用：「広報はだの令和3年8月1日号」)

教育の場は学校だけか？

現状

- ➡ 教育の場は学校の授業だけではない
- ➡ 地域や家庭も立派な教育の場



教育の場は学校だけか？

現状

➡ 教育分野

- ・「地域を教育の場にする」
- ・「地域資源を有効に活用する」

➡ **授業で扱ったことをもとに、
地域や家庭で子どもが
取り組みやすいものがあれば
さらなる効果が得られるはず**

人口減少・少子高齢社会における
秦野市の地域経営に関する提言
2019

～地域で育て、共に考え、

実践する「まち・づくり（創・造）」～

平成31年（2019年）3月

秦野市行財政調査会

（資料：「人口減少・少子高齢化における秦野市の地域経営に関する提言」秦野市行財政委員会）

課題

- 変化が激しい社会で生きる子どもたち

現状

- 非認知能力の向上を目指した取組

提案

- **社会で活躍するための一手**

なぜ将棋なのか

提案

1

本物に触れる機会を創出できる

2

工夫次第で学校でも取り入れやすい

3

専門家がいなくても実施できる

なぜ将棋なのか

提案

1

本物に触れる機会を創出できる

2

工夫次第で学校でも取り入れやすい

3

専門家がいなくても実施できる

本物に触れる機会を創出できる

提案

- ➡ 元湯 陣屋（鶴巻温泉・大正7年創業）
数々のタイトル戦が行われる
歴史ある将棋の場

実際に見学することで
将棋をより身近に感じる
ことができる



なぜ将棋なのか

提案

1

本物に触れる機会を創出できる

2

工夫次第で学校でも取り入れやすい

3

専門家がいなくても実施できる

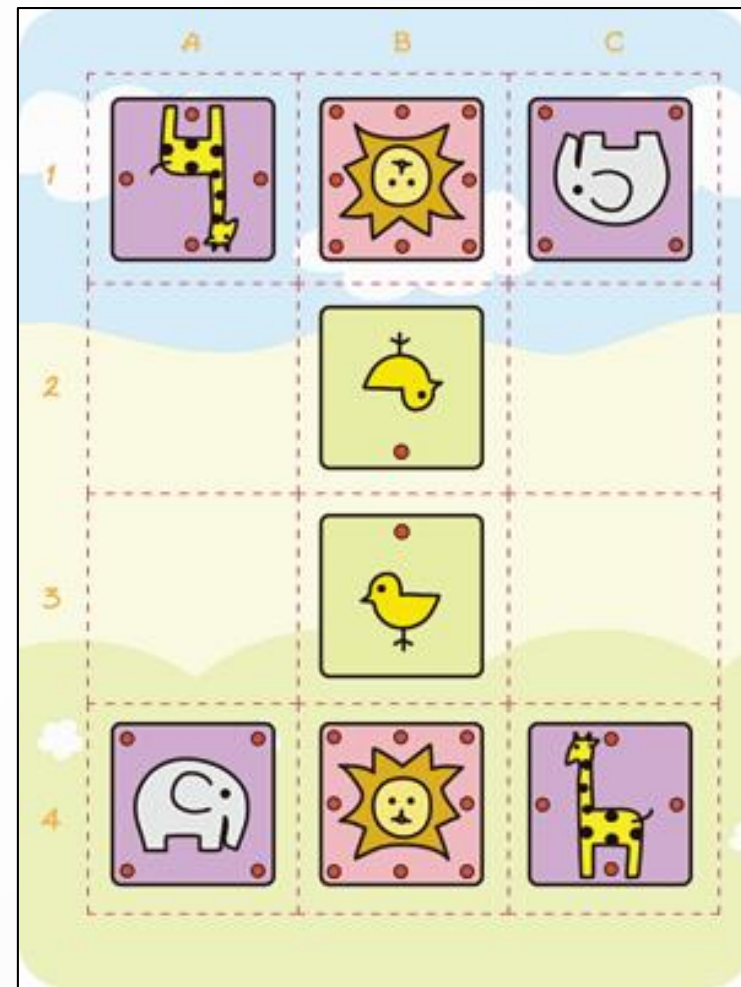
レベル調整やチーム戦など 学校でも取り入れやすい

▶ レベル調整

- ・ どうぶつしょうぎ
- ・ 青空将棋（歩なし）

▶ チーム戦

仲間と「次の一手」を話し
合う



なぜ将棋なのか

提案

1

本物に触れる機会を創出できる

2

工夫次第で学校でも取り入れやすい

3

専門家がいなくても実施できる

専門家がいなくても実施できる

- プロでなくても、将棋を教えてくれる大人は地域に必ずいる！多世代交流にも◎
- 学校や地域の講座で講師を招く際も、遠方からではなく地域の「教え上手」な方をお願いできる！

将棋は脳のトレーニング

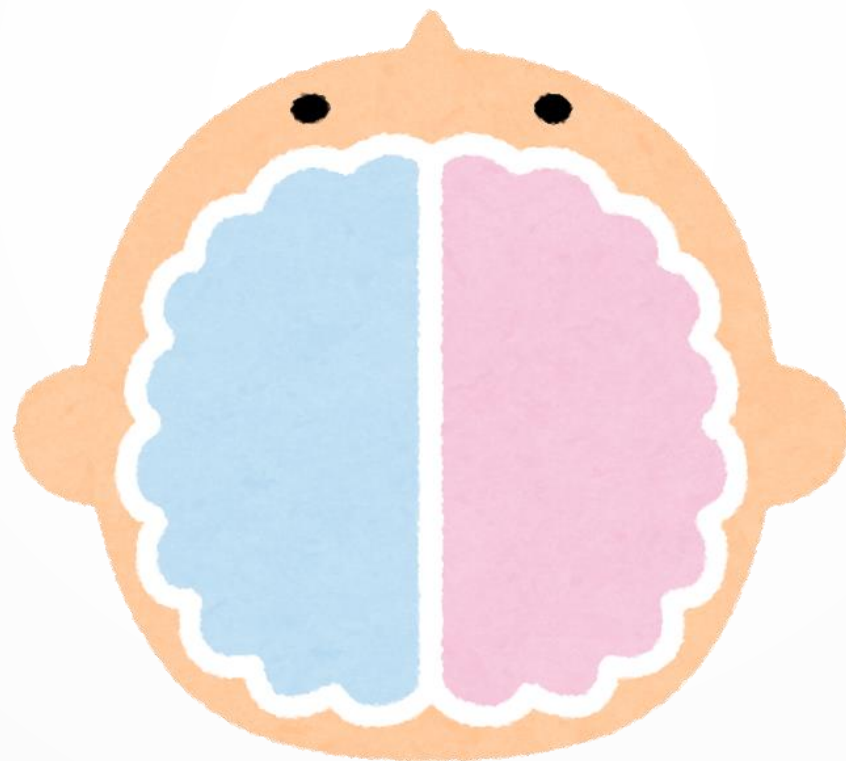
提案

前頭前野

判断力・先を読む力

左脳

論理的思考



右脳

視空間認知
イメージ力

将棋の教育的効果

➡ 自ら考える力

提案

局面を理解し
状況を判断

次の展開を
思考

次の一手を
決断

感想戦

将棋の教育的効果

提案

➡ 感想戦

自ら考える力

自己肯定感



棋士へのアンケート

➡ 日本将棋連盟が実施

➡ 調査時期
平成21年8月

➡ 回答者数
161人

プロ棋士161人に聞きました!

Q.1 将棋を始めて良かったと思うことは
なんですか、当てはまるものすべて
に○をしてください。

- 将棋の成績が上がった.....68名
- 雑音がはやくなった.....61名
- 国語の成績が上がった.....28名
- 社会の成績が上がった.....18名
- 理科の成績が上がった.....10名
- 図工の成績が上がった.....4名
- 数学の成績が上がった.....4名
- 家庭科の成績が上がった.....0名

アンケート回答者	該当数	回答者数
棋士（現役）	159	136
棋士（退役）	43	
女流棋士（現役）	38	25
女流棋士（退役）	4	
合計	244	161

調査時期：2009年8月
調査方法：現役引退を含めた棋士、女流棋士に郵便で配布。
記述後に返送。

Q.2 この中ではいかがですか？当てはまるものすべてに○をしてください。

- ひとつの事を集中して考えられるようになった.....95名
- 勝負の厳しさを知ることができた.....78名
- 礼儀作法や言葉遣いが良くなった
もしくはそう言われるようになった.....68名
- 向上心が芽生えた.....61名
- 最後まで諦めずにやり抜く力がついた.....57名
- 審判に負けを認めることができるようになった.....51名
- 知人でもまれて意気がついた.....41名
- 思いつきや習慣がついた.....18名
- ほっきりと自分の意見を言えるようになった.....18名

● その他の回答（8名）

- 自分に自信がついた
- 度々いられるようになった
- 大人との交流が密になる
- 我慢することを覚えた

Q.3 将棋を始める前と比べて、
誰からの評判が良くなりましたか？

- 学校の先生からの評判.....65名
- 友人（同性）からの評判.....53名
- 親からの評判.....46名
- 友人（異性）からの評判.....31名
- 祖父母からの評判.....23名
- 兄弟・姉妹からの評判.....16名
- その他（両親・教師からの評判、
社会からの評判、親戚からの評判）

Q.4 将棋を始めた事で、成績や周囲からの
評判以外のことで「良かった」「役に
立った」と感じる事はありますか？

- 年齢などに関係なく様々な人と出会い、
数多くのことを学んだ
 - 考える力がついた
 - 集中力がついた
 - 人の気持ちがわかるようになった
- <その他少数回答>
- テストで出題される「ひっかけ問題」が
見抜けるようになった
 - 一つの日本文化が趣味と書ける
 - 将棋の本を読むようになったことで、
普通の本も読む習慣がついた.....etc

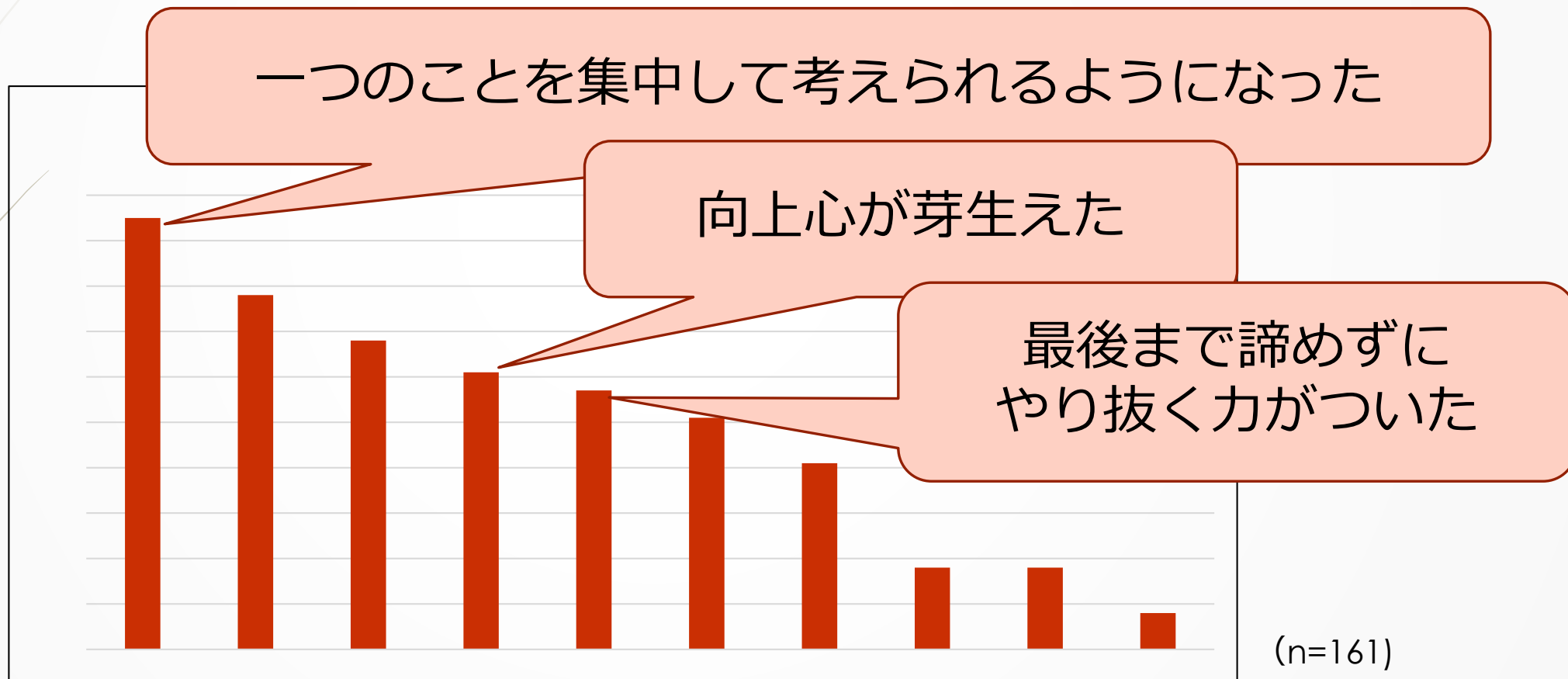
公益社団法人 日本将棋連盟

〒151-8516 東京都渋谷区千駄ヶ谷2-39-9
TEL 03-3408-6161(PE)
URL <http://www.shogi.or.jp/>

棋士へのアンケート結果

提案

「将棋を始めて良かったと思うことは？」（複数回答可）



将棋の教育的効果

- ▶ 市内将棋教室に参加する子どもとその保護者にアンケートを実施
- ▶ 子ども向け
「考える力（筋道を立てて考える力）がついたと思いますか。」 ⇒ **「そう思う」100%**
- ▶ 保護者向け
「将棋に期待する効果は？」
⇒ **論理的思考力、集中力、礼儀・マナー、他世代との交流**

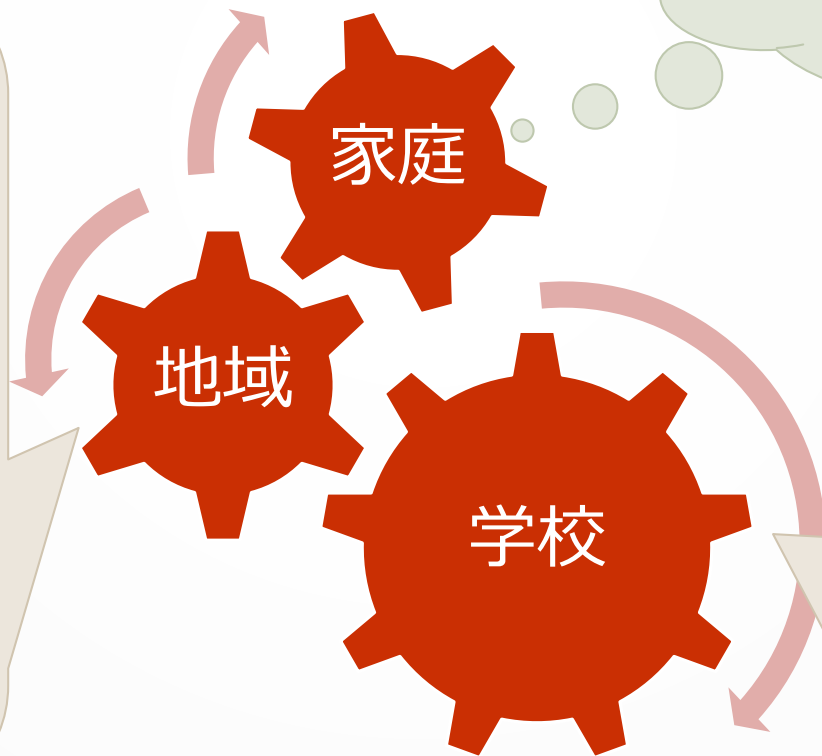
将棋×はだのっ子

～社会で活躍するための一手～

提案

地域で将棋に触れる場を増やす

- ・将棋教室を開催
- ・児童ホームや児童館等への将棋セットの配置



家族や親戚と
将棋を楽しむ

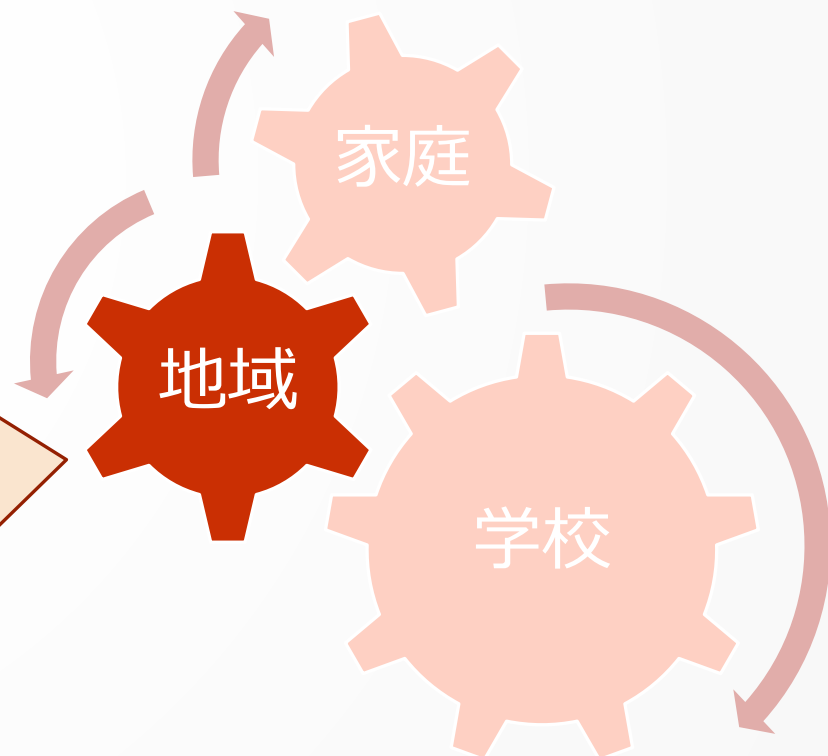
学校教育への 将棋の導入

- ・総合的な学習の時間、社会科見学
- ・クラブ活動、部活動

地域で将棋に慣れ親しむ

提案

将棋教室
+
将棋大会



「将棋教室」の開催

提案

概要

頻度	月1～2回
対象者	秦野市民 (年齢制限なし)
会場	各公民館
参加費	無料

主なコスト

講師謝礼
周知費用
将棋道具費用 (秦野産材使用)

「将棋教室」の開催

提案

➡ 周知方法

市公式SNS（X、LINE、Instagram）
広報はだの、ホームページ、公民館、自治会掲示板
デジタルサイネージ等

その他
特に子ども向け

- ・ 学校や児童ホーム等（チラシ・ポスター）
- ・ 教育指導課が作成している夏休みの宿題の一例に「将棋教室参加」を加える

「秦野市将棋大会」の開催

提案

概要

頻度	年1回
対象者	秦野市民
会場	市内公共施設
区分	①一般の部 ②子どもの部

主なコスト

スタッフ人件費
周知費用
賞状等費用
将棋道具費用 (秦野産材使用)

ロードマップ

- ▶ はじめは、1～2地区をモデル地区に設定する。

		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
学校	小3～	総合的な学習の時間等				
	小4～	クラブ活動等				
地域		児童館等への将棋道具配置	将棋教室開催	将棋大会開催		

評価

秦野市の子どもたちには、
今後の社会の変化に負けず、
「生きる力」を身につけて
活躍してほしい！

